



おく 陽治
公明党 (45分)

備後圏域のデジタル化推進は

問 取り組みの状況と今後は。

答 「びんごデジタルラボ」を設置し、中小企業への事例共有や企業同士の議論の場を提供してきた。これまで延べ220社の企業が参加している。また、「びんごICT相談所」を企業の相談窓口として設置し業務管理のクラウド化など延べ64社を支援してきた。引き続き、備後圏域の企業が新しい価値を創出できるように支援していく。



ものづくりの現状と課題は

問 人材確保の支援は。

答 福の耳プロジェクトにおいて、人材確保を経営課題として掲げる事業者が最も多く、継続的な取り組みが必要と考える。合同企業説明会や社会人インターンシップ等、幅広い分野でマッチング事業を継続することで人材確保の支援に取り組んでいる。



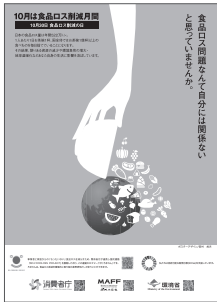
こばやし 聡勇
公明党 (35分)

食品ロスの削減は

問 ①小中学校での取り組みは。②食品ロス削減月間およびフードドライブの取り組みは。

答 ①給食では自分の食べられる量を考え、食べる前に減らしたり増やしたりすることで食べきれないように指導している。現在、栄養教諭を中心に、食品ロスの要因・影響や給食の食べ残しの現状から、食について考えるリーフレットを作成しており、今後、児童生徒、保護者に配布し活用していく。

②食品ロス削減月間である10月には、民間企業と連携し食品ロスの削減等をテーマに啓発イベントやパネル展等を開催してきた。フードドライブは、昨年10月から本庁舎やリサイクルプラザ、各支所の環境センターで拠点回収を継続的に行っている。今年度も引き続き学習会などを行うこととしている。併せて、市民や事業者に対してホームページやSNSなどを活用し呼びかけていく。



食品ロス削減月間のポスター



のむらし ずえ 野村志津江
公明党 (35分)

女性に対する就労支援は

問 ①現在の取り組みは。②国が発表した「女性デジタル人材育成プラン」に対する本市の考えは。

答 ①ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度を実施し、この認定を受けた企業を対象に、女性が働きやすい職場環境の整備に係る費用の補助制度を設けている。また、企業とのマッチング事業として女性向け合同企業説明会を市内4カ所で開催するなど、女性の活躍を支援している。

②コロナ禍で厳しい状況にある女性の就業獲得などに向け、就労に直結するデジタルスキルを身に付けた人材育成の加速化を目標とするものである。このプランに掲げる取り組みを実施することで、専門性の向上を図るとともに、デジタル分野への参入を促し、女性の経済的自立をめざすものと受け止めている。女性がより一層活躍できるよう関係機関と連携し、就労支援に努める。



※福の耳プロジェクト：企業の事業環境や経営課題を把握し、産業振興施策に反映することなどを目的とした企業訪問・ヒアリング事業
 ※フードドライブ：家庭で使いきれない未使用の食品を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動